

深谷会長、「未来」を提言

遊技機、経営など多岐に、具体的に

「パチンコ産業の未来創造・新しいビジネスモデルの創出とイノベーション（革新・再生）」をテーマに、総合ユニコム(株)主催の「パチンコホールイノベーションフォーラム2010」が10月19日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで、セミナー会場とワークショップ会場の2つに分かれて開かれた。業界関係者約5000人が訪れてにぎわった。

セミナー会場では「イノベーションセミナー」として、深谷友尋(遊協会長)が「パチンコ産業の未来創造」と題する基調講演を行った。次いで、(株)マルハン執行役員購買部部长・三上秀樹氏、ホール5団体会議小委員会環境実務委員会議長・薛博夫氏(日遊協社会貢献・環境対策委員長)、(株)環境経営戦略総研代表取締役社長・村井哲之氏、ピーアークホールディングス(株)代表取締役社長・庄司正英氏、(株)金馬車代表取締役社長・高濱正敏氏らによる、ECOホール、経営・

財務戦略などに関連した7つの講演があった。

基調講演で深谷会長は、パチンコ産業の現状として、依然として厳しい経営環境、低貸玉営業の浸透・定着、貸玉料金の多様化、ファン人口の伸び悩み、若年層の遊離傾向などを挙げ、歴史的転換の渦中にあることを強調した上で、「未来型遊技機の創造」「未来型賞品提供の仕組みづくり」「未来型経営の創造」「海外進出の可能性」などを提示した。

未来型遊技機の創造では、時代の変化に対応した新しいコンセプト機として「低額負担の低射幸性機」や「リバイバル機の再現」に加えて、「貸玉料金選択型の遊技機」「遊技機のIT化」を挙げた。貸玉料金選択型の遊技機は、上限の貸玉料金を超えない範囲でお客様が好きな

料金を選
択して遊
べる仕組

熱心な聴衆が詰めかけたイノベーションフォーラム



みで、お客様の利用しやすい環境を整えていくことが遊技産業の継続的発展に欠かせないとしている。

遊技機のIT化については、多様なニーズに応える遊技性とコンテンツでゲームに奥行きと幅が広がるとともに、ソフトの入替だけで機種変更やバージョンアップができれば高コスト体質の主因とされる入替頻度の問題が解決し、また廃棄台の減少によって環境配慮型の産業に転換できるとしている。

未来型賞品提供については、賞品の持ち帰りを増やして換金需要を低減させ、地域商店との連携を強化して「地域との共生」につなげるため、日遊協が店外オンラインの検討を重ねていることを述べた。未来型経営の創造については、北海道・函館市の老舗繁盛店を例に挙げ、賞品の90%を地元の生産者などから仕入れ、地域と連帯して成長する「地域密着」、正社員から清掃パートまでの全構成員が店の方針を一緒に総括し創っていく「共育」など、5つの独特な経営理念を紹介した。

一方、ワークショップ会場では、各台計数システム、環境・ECO・省力化設備機器、ホールアメニテ

イ機器など46企業による最新設備機器の展示が行なわれた。会場の一角では「ワークショップセミナー」として、省エネ・省力化、各台計数システム、集客システム、顔認証システム、税務対策などに関する11講座が持たれた。

支部強化委員会

10月26日
本部会議室
出席委員等9人

独自性の模索を研究 委員会との交流強化も

各支部の活動状況が報告され、それを踏まえて支部の活性化と会員増強の2点について意見を出し合った。

日遊協にしかできない活動を求める意見が強く出された。一例として、遊技機開発委員会を中心に来年2月26日に開催が予定されているファン対象の試打・ヒアリング会が取りあげられ、そこから派生してファンを対象にしたメーカー工場見学などが話題となった。支部の若手会員の専門委員会傍聴や専門委員会の支部訪問などの交流強化も提案され、詰めていくことになった。会員ゼロの県に対する強化策が討議された。

無料開放でにぎわう「スーパーランドビュー」(写真は同店提供)



に重点を置き、来店する1人1人と初めてですか」と問いかけた。その結果わかった約30人の初心者やスリープユーザーに15人のスタッフが動員して1対1で対応、リーフレットを渡しながら台の特徴や遊び方を

説明した。「敷居が高くて入りづらかったが、やってみたら面白かった」と一様に喜んでいった。その間、一般のファンも来店し、午後7時のイベント終了までに合計約400人が訪れて無料のパチンコを堪能した。岡本店長は「ネガティブなイメージを払拭し、気軽にホールに来てもらいたいと思っている。これからも続けていきたい」と語った。

13団体が連携して進めております」と現状報告をした。そのあと、健全化推進機構、ホール5団体会議の運営状況、有識者会議、就職合同説明会、店長講習教本改正、新たにスタートしたエッセー・絵手紙コンクールなどについて報告された。引き続き、産業界における現在の課題について意見交換が行われた。

千歳観光が「無料パチンコ・デー」

お年寄りから初心者「よかった」「また来たい」

東京都と神奈川県にホールを展開する(株)千歳観光の「スーパーランドビュー」(神奈川県小田原市、岡本徹昭店長)が10月4日の休店日に、お年寄り、初心者などにホールを1日開放し「無料パチンコ体験」のイベントを行った。

同店はパチンコ366台、パチスロ120台を設置しており、この日はパチンコ台が開放された。午前10時から昼までは老人ホームのお年寄りを招いたパチンコ体験で、近隣の2つの施設から20人が参加した。施設・ホール間の送迎

から遊び方の説明、ドル箱の玉運びまで、ホールのスタッフが付き添って世話を焼いた。お年寄りは、ハイテクのパチンコ台相手に約2時間を楽しみ、「一度やってみたかったのでよかった」「また来たい」と満足そうに帰って行った。

午後1時からはパチンコ全台が一般に開放された。事前に職(のほり)やポスターで無料パチンコをPRしていたのでファンが詰めかけたが、同店では今回とくに初心者や昔プレーをして今はやめている、いわゆるスリープユーザーの参加

警察庁と連絡会議

現状、取り組みを報告 深谷会長以下12人が出席

警察庁と日遊協の今年2回目の連絡会議が10月14日、東京・グラウンドアーク半蔵門で開かれた。警察庁から担当官の出席をいただき、日遊協側からは深谷友尋会長はじめ副会長、専務理事、常務理事、相談役の12人が出席した。

不正対策室会議(室長・伊東愼吾常務理事)は10月25日、日遊協会議室で開かれPSIO(遊技産業不正対策情報機構)の入力情報が報告され、ゴト情報、不正情報について討議した。PSIOの9月の入力は、オープンネット(業界一般からの不正情報)で758件で、昨年より99件増えているが、携帯へシフトしている傾向がある。ゴト情報では、パチスロのIBETボタンへのケースが見られたが、メーカーの対策がなされたことなどが報告され、不正情報では、演出釘、店員、サクラなどに関する指摘が多かった。また、システムの強化が承認された。

不正対策室会議

システム強化を承認 携帯情報がいぜん増加

13団体が連携して進めております」と現状報告をした。そのあと、健全化推進機構、ホール5団体会議の運営状況、有識者会議、就職合同説明会、店長講習教本改正、新たにスタートしたエッセー・絵手紙コンクールなどについて報告された。引き続き、産業界における現在の課題について意見交換が行われた。

マネジメント・カレッジ感想調査

業種違っても本音で語った大好評の 大嶋講演

さる9月9～11日の3日間、埼玉県熊谷市のホテル・ヘリテイジと同県嵐山町の共生の森で開催された日遊協主催・第4回遊技産業マネジメント・カレッジについて、運営に携わった人材育成委員会はこのほど、参加した研修生にアンケート調査した結果をまとめた。63人の研修生中57人から回答を得た。同委員会では回答内容を分析し、来年第5回以降の参考にしていく。

今回のカレッジでは、「今、必要とされる真の顧客視点とは！」を基調テーマに、最初の2日間はホテル・ヘリテイジを会場に11グループに分かれて討論（グループワーク）し、結果をプレゼンテーションした。さらに特別講演を聞き、懇親会で語り合った。3日目は共生の森で下草刈りなどの社会貢献活動に汗を流した。

みんなの危機感がわかった
「研修でよかった点・印象に残っている点」で違う業種の人たちと本音で意見交換が出来、横断的な人脈をつくれたことをほとんどの人が評価した。「いつも感じていた立場の違いを乗り越え、同じ目線で悩み、わかりあえた」「様々な業種の意見をリアルに聞けた」「研

修にきたメンバーすべてがこの業界に危機感を持っており、何とかしたいと考えていることがわかった」など。

とくに大嶋啓介(つてっぺん)代表取締役の特別講演には、ほぼ全員が強い印象を持った。「最初は暑苦しかったが、子どもへの態度についての話を聞いて感動した」「明日からでもすぐに実行に移したいと思った」「自分に置き換えられる内容が多く、心の中で熱くなるものがある」「内容が素晴らしいと同時に、個人的にはプレゼン手法の高さが勉強になった」などの賛辞が寄せられている。

メンバーチェンジしたい
「改善すべき点」多くの人と交流が思ったよりできなかったと残念がる意見が目立った。「他のグループの人たちと話す場がほしかった」「一度結論が出たらグループを解散し、別のメンバーでやってみて良かった」

「出来れば日数を増やし、メンバーチェンジをしたい」「部屋割は基本的に同じ企業同士の方が良かったが、シヤッフルしたほうが人脈を広げられるのではないか」などがあった。

プレゼンと時間に不満

グループワークについて、「企画書(フオーマット)は廃止したほうがいい」「グループワークの時間を増やしてほしい」「10分のプレゼンで全員が話すのは無理。方法もPCの使用など自由裁量を持たせたほうが活性化す

ると思う」「グループワークの途中で助言をいただいたほうが、結果的にありがたかったと思う」「ディスカッションとプレゼンのテーマが離れていてやりにくい」などが指摘された。

故三上和幸氏に從四位

さる8月14日に死去した日遊協特別参与で前専務理事、故・三上和幸氏(写真)が從四位に叙された。



同氏は1958年4月、警察庁に入庁し、刑事企画課長、高

知県本部長、警察大学校特捜幹部研修所長、兵庫県本部長を歴任し、90年4月、九州管区警察局長で退官した。2000年6月から昨年6月まで9年間、日遊協専務理事を務め、在任中は日遊協の柱にこだわらず業界横断的な諸問題の解決に貢献した。04年秋の叙勲で、警察行政などの功績により瑞宝中綬章を授与された。

102チームでフットサル プロバ、16回目の大会開く

プロバグループ(広島県呉市、平本直樹代表)が主催する第16回プロバカップ・フットサル大会が、10月23、24日の2日間、広島市のサンフレッチェ・ミズノフットサルプラザ広島で開かれた。102チーム(約800人)が参加し、エキスパート(中学生以上、フレンドリー(女性か小学生を含む)、ジュニア(小学生)の3部門

に分かれて熱戦を展開した。「リーグのサンフレッチェ広島の現役選手も激励に駆けつけ、握手会や決勝戦の実況中継に解説者として加わるなど、会場を盛り上げた。



フットサル大会の熱戦

NOVEMBER

4日(木)	東京都・関東支部親睦チャリティ・ゴルフコンペ(千葉CC野田コース)
5日(金)	クリーン大阪キャンペーン(近畿支部)
6日(土)	11:00~19:00 リクナビLIVE2010(東京ビッグサイト)
7日(日)	10:00~18:00 リクナビLIVE2010(東京ビッグサイト)
9日(火)	13:00~15:00 流通制度委員会
	15:30~17:00 経営改革委員会
11日(木)	13:00~15:00 広報委員会
12日(金)	15:30~17:00 人材育成委員会
	15:30~17:00 社会貢献・環境対策委員会
15日(月)	10:00~17:10 取扱主任者新規講習・試験(名古屋ガーデンパレス)
16日(火)	10:00~16:50 取扱主任者更新講習・試験(同)
17日(水)	10:00~17:00 店長等講習・試験(同)
18日(木)	11:00~12:30 政策検討連絡会
	13:30~16:30 理事会
	16:30~ 業界誌記者会見・懇親会
19日(金)	13:00~15:00 遊技機開発委員会
	15:30~17:30 遊技機健全化委員会
24日(水)	13:30~16:30 セキュリティー対策委員会

11月の行事予定

各チームとも、テーマに仕上げに余念がない



貯玉補償基金理事会 補償、規定など5件 来年度ポスターも決まる

一般社団法人貯玉補償基金（代表理事・深谷友尋日遊協会長）は10月20日、日遊協本部会議室で第28回定例理事会を開き、5つの議案を審議した。

補償実施結果確認の2件、保証金適用の1件、貯玉補償事業等の「運用規程」「利用に関する規約」の一部改正に関する1件を承認した。5番目の議案である「2011年版ポスター等作成」については、3案の候補から決定版を選び、制作費用についても承認した。報告事案としては、基金加盟状況、資金運用及びその継続、平成22年度中間決算の3件が説明された。

また、今後予想されるセンター事業者への新規参入企業の要件について検討を進めることが確認された。

理事会後、貯玉補償基金に関する記者会見が開かれ、深谷友尋理事、篠原弘志理事が、業界誌記者の制度・運営状況などについての質問に答えた。

専務理事に弘瀬清氏 電子認証システム協議会

一般社団法人電子認証システム協議会（認証協、下口二郎代表理事）は9月27日、定時社員総会を開き、専務理事に弘瀬清氏を新任した。

会員・業界消息

（代表者変更）

株式会社SNKプレイモア
代表取締役社長・水船亮

9月
（社名、住所、電話等変更）

株式会社NPI総研

（旧社名、株式会社N・P・I総研）

〒110・0015

東京都台東区東上野

4・1・9東銀上野ビル4階

TEL03・58300・3987

FAX03・58300・3968

メール:info@npisouken.co.jp

7月1日から

（社名、電話等変更）

株式会社プロテラス

（旧社名、株式会社インフォビー）

TEL03・57719・7400

FAX03・57719・7411

10月1日から

（社名変更）

インターライフホールディングス株式会社（旧社名、株式会社日商インターライフ）

10月5日から

（支店及び営業所移転）

サミー株式会社

北関東支店及びさいたま営業所

〒330・0843

さいたま市大宮区吉敷町

4・261・1キャピタルビル4階

北関東支店

TEL048・6000・2911

FAX048・6000・2912

さいたま営業所

TEL048・6000・2651

FAX048・6000・2653

10月18日から

（営業所移転）

奥村遊機株式会社 静岡営業所

〒422・8047

静岡市駿河区中村町120・1

TEL054・2800・3500

FAX054・2800・3501

10月20日から

（社名、住所等変更）

株式会社ナオ

（旧社名、株式会社後藤）

〒722・1121

広島県世羅町大字西上原455・4

TEL0847・46・3141

FAX0847・46・2627

（本社移転、支店開設）

株式会社ジエイビーエス

〒669・1339

兵庫県三田市テクノパーク5・4

TEL079・5600・7131

FAX079・5600・7130

貯玉補償基金加盟状況 (2010年9月30日現在)

	店舗数	前月比
北海道	189	+2
東北	461	+1
東京	378	+4
関東	1167	+6
中部	318	+4
近畿	551	+8
中国	198	+5
四国	99	0
九州	516	+3
全国計	3877	+33

DATASPOOT

パチスロ持ち直し、パチンコ下降気味

全日遊連は10月25日、店舗数、遊技機台数の2010年9月分を発表した。店舗数は昨年9月より203店減っており、200店台減が続いている。遊技機ではパチンコ機が2万2091台増（昨年9月291万6536台）としいに増幅が減っている。パチスロ機は2万4576台減としいに昨年に追いついてきている。ただ両方とも今年に入って大きな変化はない。＜注＞店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成22年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	総台数
1月	11,675	22	18	105 (8)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,663	24	35	107 (14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107 (16)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97 (7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	105 (15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	11	28	108 (21)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	22	44	101 (12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,556	23	35	101 (10)	2,941,292	1,254,681	156	4,196,129
9月	11,553	26	30	94 (9)	2,938,627	1,260,324	156	4,199,107

大阪支店
〒555・0034
大阪市西淀川区福町3・1・48
TEL06・6477・8221
FAX06・6477・8222
10月18日から

愛知県警察人事
(9月24日)生活安全部参事官兼保安課長(保安課長) 澤井重徳